




深澤 義彦 市長
 ◆賀露町在住
 昭和53年市役所入局。秘書課長、市民税課長、総務部次長、行財政改革参事監などを歴任し、平成18年6月助役(現副市長)に就任。平成26年4月、市長に就任。現在1期目。



岡田 良寛 さん
 ◆鳥取市出身
 Book Cafe ホンパコ 店主
 広島大学卒業後、日本を旅する。平成26年の第1回リノベーションスクールに参加し、スクールの対象物件であった「旧喫茶AC」をリノベーションし、「ホンパコ」を開店する。



坂口 祐貴 さん
 ◆鳥取市出身
 株式会社TAICHIRO 代表取締役
 東京の大学に進学後、海外留学を経て東京で就職。平成26年6月にUターンし、平成28年7月に天然木一枚板ブランド「TAICHIRO」鳥取ショールームを福部町にオープンする。



石谷 依利子 さん
 ◆東京出身
 砂丘YOGA 代表
 平成13年、結婚を機に鳥取市へUターン。放課後児童クラブ指導員を経て、平成26年に「砂丘YOGA」を設立。ヘルスアップセミナー・講演会でヨガ講師も務める。



吉永 昇平 さん
 ◆熊本県出身
 吉永農園 代表
 鳥取環境大学第2期生で、とっとりふるさと就農舎第1期生。卒業後、鳥取市にUターンし、国府町で米や野菜づくりなどを中心とした農業に従事する。

短いので、太平洋側や山陽側の木と比べると同じサイズになるまで時間が2〜3倍かかります。その厳しい環境の中で育った木なので、当時体調を崩して苦しんでいた私のことを全部わかってくれるような、そんな魅力やパワーを持っていると感じています。

深澤 海の青さと、山の緑に囲まれてすばらしい仕事をしてもらえるように感じました。鳥取市の気候や風土に育てられた木を生かした鳥取市ならではの取り組みだと思いますので、さらにご活躍いただきたいと思っています。

永井 次は、砂丘YOGA代表の石谷依利子さんです。

石谷 砂丘でヨガを見るのとは全然違うので、ぜひ体感していただくのが醍醐味です。自然が見せてくれる風景は同じ時が一度もないのが魅力で、いつも発見があつて飽きないですね。最初の2年くらいは、地元の人が多かったですが、今は8割くらいが県外の人です。最近では、少ないですが海外の人も来ています。

深澤 砂丘とヨガという新たな発見です。石谷さんに鳥取砂丘に新たな魅力を追加していただきました。とてもすばらしいですね。

永井 また、石谷さんは2人の子さんのお母さんということで、鳥取市での子育て環境はどう

ですか。

石谷 私は働きながら子育てをしていたので、行政や周りのお母さん、地域の人が助けていた大きながら子育てできました。子育て王国として県も市も子育てしやすい環境になってきていると思います。

深澤 ありがとうございます。鳥取市では、妊娠・出産から子育てまでいろいろな支援をさせていただいていますが、みなさんのいろんなご意見を伺いながら、一緒に子育てのしやすいまちにしていきたいと思っています。

永井 最後に、吉永昇平さんです。

吉永 2年間の研修で基礎的なことを学び、安心して就農できました。

た。現場に出ると栽培方法や管理方法が違うので、難しい面もありますが、一緒に研修した仲間と話したり、地域の人に支えられながら楽しく農業をしています。熊本から来たんですけど、最初は雪が多くてびっくりしました。国府町の奥は2メートルくらい雪が積もるので、どうやって農業を頑張ったらいいいのかと戸惑ったこともありましたが、それも上手に生かしながら農業をしていけたらと思います。

深澤 農業を取り巻く環境は、後継者不足、耕作放棄地など厳しいものがあります。困難な課題を乗り越えられ、鳥取市で農業を続け



2017 新春座談会

すごい!鳥取市 ワーホリ! ~ストレスオフなまちをめざして~

すごい!鳥取市 ワーホリ!



新年あけましておめでとうございます。
 昨年9月に公開した「すごい!鳥取市 ワーホリ!」PR動画。動画では、首都圏に住む見知らずの男女3人の若者が2泊3日の日程で本市を訪れ、就業体験や本市に移住した人とふれあいました。この動画にご出演いただいたみなさんに、撮影時のエピソードや鳥取市の魅力について深澤義彦市長と語っていただきました。

※「ワーホリ」…主に海外で短期就労する制度「ワーキングホリデー」の略
 問い合わせ先 本庁舎広報室 ☎ 0857-20-3159 ☎ 0857-20-3056

自身の取り組みについて

深澤 新年あけましておめでとうございます。このたびの動画は、鳥取市の自然や食などの良いところを、鳥取市に来て直接体験していただき、地元の人にも出演していただき制作しました。

永井 それでは、動画に出演いただいたみなさんをご紹介します。まずはBook Cafe ホンパコの店主 岡田良寛さんです。

岡田 平成26年11月に開催された第1回リノベーションスクールの対象としてこの物件があり、受講生として参加しました。スクールは3日間で、約10人の受講生がチームを組み、実際の空き店舗を見て事業計画やコンセプト、初期費用をどこから集めるかなどの事業提案を大家さんにプレゼンテーションします。プレゼンした結果、採用されたら、さらに計画を練り、事業化するまでをみんなで取り組んでいきます。ホンパコは、いろいろな人からおすすめ本を寄

贈していただき、人と人がつながっていきやすい場所になれればいいなというコンセプトで始めました。

深澤 私も1冊本を置かせていただいたんですが、本を通して人と人の新たなつながりができるといふすばらしい取り組みを進めていただいていると思います。

永井 次は、株式会社TAICHIRO代表の坂口祐貴さんです。

坂口 もともと東京で働いていましたが、東京より鳥取市の方が居心地がよかったのと、都会という環境の中で体調を崩してしまつたため、鳥取市に帰ってきました。何を起業しようか探していたんですけど、福部町岩戸で鳥取の木に出会い、これなら自分の人生をかけることができると直感で思い、会社を立ち上げました。鳥取は日照時間が

